

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 106 7月号

2014年7月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(<https://www.lib015.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

## 読書と私 No.98

### 「本が傍<sup>そば</sup>にある毎日」

揖西町 森本 菜奈絵

本は生まれたときから私の近くにありました。好きだからではなく、そこに本があるから読む、それはまるで刷り込みのように本が傍にある毎日を送っていました。

しかし、小学生のときは毎日15分間必ずとれていた読書の時間も、中学校では10分間になり、それさえもなおざりになることが増えて、読書をする時間は中学生になって大幅に減ってしまいました。生まれた時から傍にあったはずの本や図書館はいつの間にか私にとって遠いものとなっていました。

そんな私にとって、中学2年生の秋に図書館で職業体験をさせていただいた1週間はとても大きな財産となりました。毎日を本の中で過ごし、何十何百の本とふれあい、本を好きな利用者の方々と毎日お話すことで、また図書館を、読書を、身近に感じることができました。

特にそれを強く感じたのは、幼稚園での絵本の読み聞かせです。10歳近く離れた園児のみなさんがキラキラした目で絵本を見つめているのを見て、本は分け隔てなく誰しもの心に寄り添えるのだと今更ながら感じました。母に絵本を読んでもらっていた子どもの頃の私は、この子たちと同じようにキラキラした目をしていたのかな、と考えました。この体験以来、本から得た知識や感情の揺れは、生活の、そして心の基盤や指針になると信じて、読書をする時間を積極的にとるようにしています。

図書館は私にとって出会いの場です。本と出会い、その本に創ってもらった気持ちは、未来の友達や大切な人と出会わせてくれると思っています。

来年、高校に入学してたくさん体験するであろう出会いに備えて、今年は図書館へできる限り足を運ぼうと思います。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『女のきっぷ 逆境をしなやかに』 森 まゆみ 著 岩波書店



『断髪のモダンガール』などの著作で知られ、地域雑誌の編集者として東京下町の町おこしにも関わっている著者が、明治から平成まで「きっぷ（気風）」のいい生き方を貫いた17人の女性の人生や心のあり方を紹介する。

和田英は明治5年に操業開始した官営富岡製糸場で、最初の製糸工女として働き、その回想録である『富岡日記』を残した女性である。当時の日本の主要産業である生糸の質と量を高めるためにフランス人の建築設計と製糸指導のもと、富岡製糸場には日本国中から500人を超える工女たちが集められた。信州松代から技術獲得の使命を帯びて入場した英は、なかなか操

糸の仕事をさせてもらえないことに対して若干15歳ながらも堂々と抗議する。その後、英たちは一等工女に指名され、指導者として故郷に錦を飾った。英は、勝ち気な気性と冷静な行動で自分の役割を果たした。

家族の反対を押し切ってイタリア人の日本美術工芸家に嫁いだラグーザ玉、女性医師としてハンセン病の患者に寄り添った神谷美恵子など、彼女らは才能も生き方も様々であるが、世の中の風に逆らって、しっかりと地面を踏みしめて立ち、自分と自分の愛するものを守ろうとした。いつの時代も女性は強くしてしなやかで、読者にかくありたいと思わせる力を秘めている。

(新宮図書館 藤川)

**トピックス** 夏休みは図書館に行こう!!(前編) - イベントのご案内 -

※申込、問い合わせは各図書館まで

**科学あそび教室**

身近なものを使って、いろいろな音を出してみましよう

日時：7月6日(日)

午前10時～午前11時30分

場所：龍野図書館 講師：上田倫範氏

対象：小学1年生～3年生の児童とその保護者

定員：20組程度(要申込)

**ちりめん本の講座**

ちりめん本の挿絵を使って行灯を作ろう

日時：7月26日(土)・8月2日(土)

午前10時～

場所：龍野図書館 講師：堂野能伸氏

対象：5歳～大人

※小学3年生までは保護者同伴

定員：各20名(要申込・先着順)

**龍野北高校生と石ころアートに挑戦しよう**

石ころの形を生かして、動物や鳥、魚、恐竜などを描いてみませんか?

日時：8月2日(土)

午後1時30分～午後3時30分

場所：新宮図書館

対象：小学1年生以上

小学2年生までは保護者同伴

定員：30名(要申込・先着順)

※7月16日(水)から受付

**一日図書館員体験**

図書館の仕事を体験しませんか?

日時、定員：

【龍野図書館】

7月30日(水)、2名

【揖保川図書館】

8月7日(木)・8日(金)、各2名

【御津図書館】

7月24日(木)・25日(金)、各2名

午前9時30分～午後5時

対象：市内在住・在学の小学5年生～高校3年生

申込期間：7月18日(金)まで

※経験者はご遠慮ください 申込多数の場合は抽選します

**おいがみ教室**

遊べるおりがみをつくります

日時：7月26日(土)

午前10時30分～午前12時

場所：アクアホール3階研修室(揖保川図書館)

対象：5歳以上 ※未就学児は保護者同伴

定員：20名(要申込・先着順)

**合同読書会**

龍野高校生と課題図書についての感想を話し合います

日時：8月5日(火)

午後2時～

場所：龍野図書館

課題図書：『永遠の0』百田 尚樹 著

定員：10名(要申込・先着順)

## おすすめする子どもの本・98

### 『モーモーまきばのおきゃくさま』

マリー=ホール=エッツ ぶん・え やまのうち きよこ やく 偕成社

牧場で牛が草を食べていました。とてもおいしい草なので、牛は誰かにごちそうしてあげたいと思いました。そばにいた鳥のかけすがお客さまを誘ってきてくれることになりました。牛は

花の髪飾りをつけて、お客さまを待ちます。かけすはごちそうが草の他に何もなかったことを知っていましたが、そのことをお客の誰にも言わず、モーモーまきばに誘いました。

やがて約束の時間になると、馬や豚、羊、猫、犬、がちょう…たくさんの動物がやってきました。牛は喜んで「ようこそおいでくださいました」と皆を迎えました。猫が持ってきたチェロを弾き、皆で歌を歌った

り、輪になって踊ったり、おにごっこをしたり楽しい時間を過ごしました。

いよいよ食事の時間になり、牛は皆においしい草を勧めました。ところが草の他にごちそうが何もないとわかると、犬や豚やめんどりたちは帰ってしまいました。がちょうや猫、ねずみも帰ってしまいました。その様子を見ていたかけすに笑われ、牛は悲しくなりました。けれど、草の好きなお客さまもいたのです。皆は毎日仲良くおいしい草を好きなだけ食べました。友達にごちそうできた牛はとても幸せでした。

うすいピンク色を背景にしたやわらかいタッチの絵からは、モーモーまきばののんびりとした様子や、友達ができて一緒に過ごすうれしさが伝わってきます。

読んであげるなら4歳くらいから。

(揖保川図書館 二井優)

### 『ズボン船長さんの話』 角野 栄子 作 福音館書店

ケンはお夏の間、ぜんそく療養のため海辺の町で過ごします。ケンの家は坂の途中にあり、坂のてっぺんは海に突き出した丘で、もと船長、ズボン号のズボン船長さんの家が建っています。

ズボンをぶら下げた丸太をたて、船に見立てています。ケンはずボン船長から航海した時の話を聞きました。

インド洋のおさとう島で絶滅したはずのドードー鳥が300年ぶりに発見され、動物園の園長ロバート氏、フルフルサーカス団の団長ローズマリー女史、鳥類学者ルソー氏と奥さんの4人はズボン号で島に向かいました。第1発見者であるムガク氏は欲しくて、珍しいドードー鳥で島を豊かにしようとしていました。しかしロバート氏は動物園で、ローズマリー女史はサーカスでそれぞれ珍しい動物を売り物にしたいと思

い、大金をちらつかせながらムガク氏に攻め寄りました。ムガク氏は連日2人に迫られ困り果てていました。折しもさとうきび畑の中にドードー鳥がいると通報があり、大騒ぎになりました。剥製とは知らず、ロバート氏とローズマリー女史がその鳥めがけてわれ先にと走って行った隙に、ズボン船長は本当のドードー鳥をズボン号に乗せ出航しました。島に残されたローズマリー女史とロバート氏は船に向かって浜辺を必死で走っています。そしてドードー鳥は家族の棲む近くの無人島に戻されました。その時持ち帰った羽根が今ではズボン船長の宝物となっています。

ケンはズボン船長の7つの宝物にまつわる愉快な話、不思議な話、夢のある話に夢中になります。そして2人の友情が深まり、ケンが元気になっていく様子がほほえましく描かれています。9歳くらいから。

(龍野図書館 石井)



# 各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

| 館名                             | 行事        | 対象(上段) ・ 時間(下段)                                 | 7月の予定                                    |
|--------------------------------|-----------|---|--|
| 龍野図書館<br>TEL(0791)<br>62-0469  | ●えほんのじかん  | 1～3歳児、保護者<br>-----<br>第2・第3土曜日(11時～11時20分)      | 12日・19日<br>『いないいないばあ』他                   |
|                                | 子どもの本を読む会 | 一般<br>-----<br>第2木曜日(10時～11時30分)                | 10日<br>『アンの娘リラ』モンゴメリ 著                   |
|                                | 読書会       | 一般<br>-----<br>第2金曜日(10時～11時30分)                | 11日<br>『対岸の彼女』角田 光代 著                    |
| 新宮図書館<br>TEL(0791)<br>75-3332  | ●えほんのじかん  | 2～4歳児、保護者<br>-----<br>第1・4月曜日、第3日曜日(11時～11時20分) | 7日・20日・28日<br>『みずあび だろあび いいきもち』他         |
|                                | ■おはなしのじかん | 5歳児～<br>-----<br>土曜日(11時～11時30分)                | 5日・12日・19日・26日<br>「ヤギとオオカミ」他             |
| 揖保川図書館<br>TEL(0791)<br>72-7666 | ●えほんのじかん  | 3～5歳児、保護者<br>-----<br>第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)   | 12日・19日<br>『そらいろのたね』他                    |
|                                | ■おはなしのじかん | 小学生以上<br>-----<br>第2・第3土曜日(11時～11時30分)          | 12日・19日<br>「ふしぎなたいこ」他                    |
|                                | 読書会       | 一般<br>-----<br>第3金曜日(10時～12時)                   | 18日<br>『粗にして野だが卑ではない 石田禮助の生涯』<br>城山 三郎 著 |
| 御津図書館<br>TEL(079)<br>322-1007  | ●えほんのじかん  | 0歳児～、保護者<br>-----<br>第2・第3日曜日(11時～11時20分)       | 13日・20日<br>『かぼくん』他                       |
|                                | 読書会       | 一般<br>-----<br>第2火曜日(13時30分～15時30分)             | 8日<br>『女盛りは意地悪盛り』内館 牧子 著                 |
|                                | 古文書を読む会   | 一般<br>-----<br>第2土曜日(13時30分～15時30分)             | 12日<br>古文書の解説                            |